

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第42週の発生動向

全数報告の感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 6例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：播種性クリプトコックス症 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	男	肺結核	咳、発熱
			60歳代	女	肺結核	咳
			70歳代	男	肺結核	咳、痰、胸痛
		都城	70歳代	女	肺結核	咳、発熱、食欲不振、全身倦怠感
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	女	—	水様性下痢、血便、発熱、O103(VT型不明)
5類	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	男	—	頭痛、発熱、痙攣、項部硬直、皮疹、真菌血症

定点把握の対象となる5類感染症

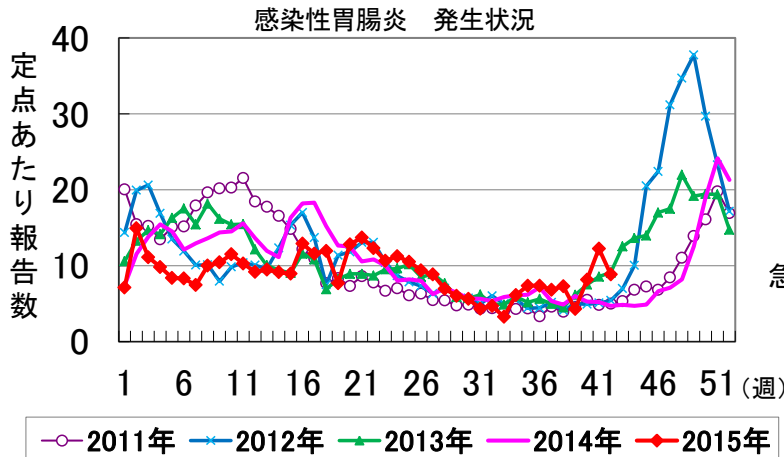
・定点医療機関からの報告総数は615人(定点当たり22.3)で、前週比78%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

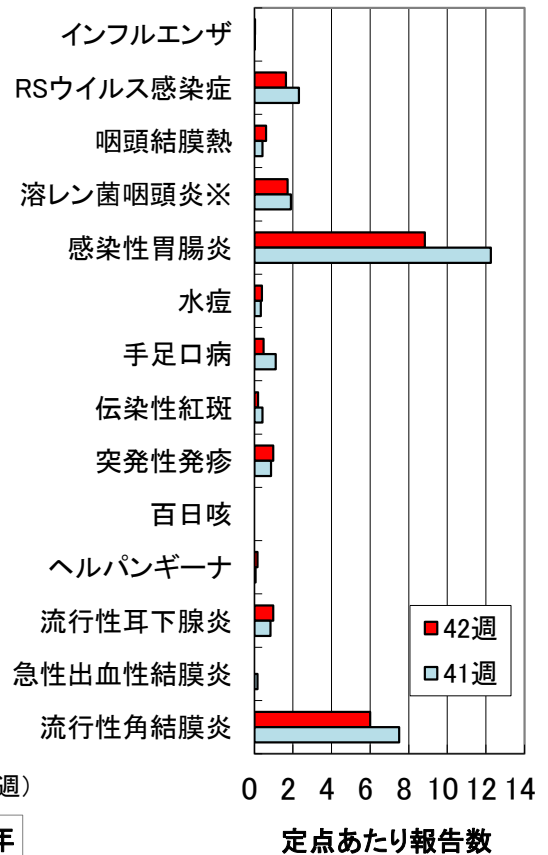
【感染性胃腸炎】

・報告数は318人(8.8)で、前週比72%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.3)の約1.4倍であった。小林(30.3)保健所からの報告が多く、年齢別では6カ月~2歳が全体の約半数を占めた。

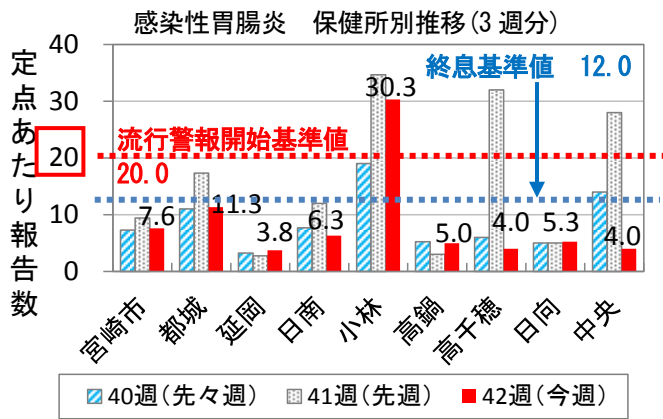
*過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値。



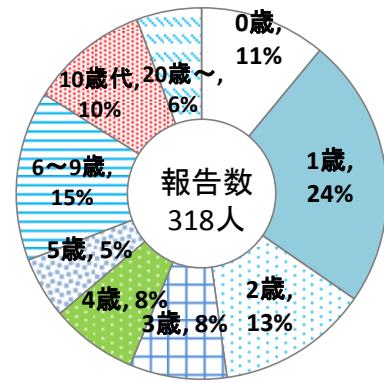
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎 年齢別割合 (42週)

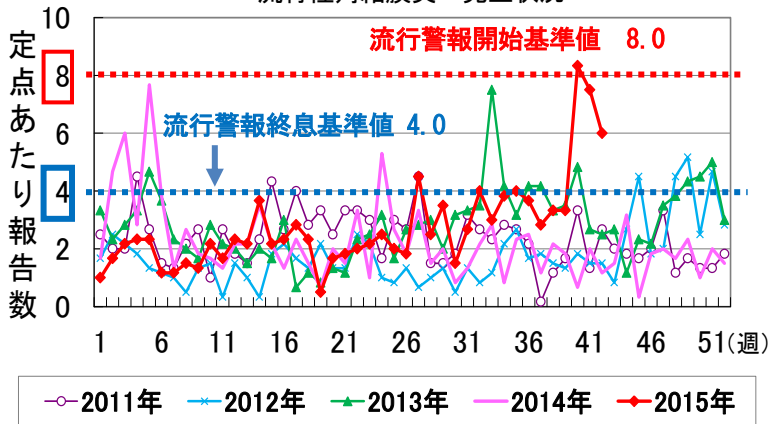


★眼科定点からの報告★

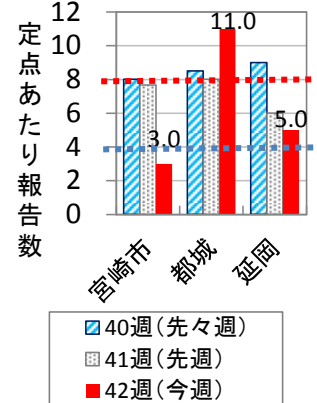
【流行性角結膜炎】

・報告数は36人(6.0)で、前週比80%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.1)の約2.9倍であった。都城(11.0)保健所からの報告数が多かった。

流行性角結膜炎 発生状況



流行性角結膜炎 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から2例報告があった。1~4歳と10歳代が各1例ずつで、いずれも咽頭ぬぐい液から *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
都城	流行性角結膜炎(11.0)
小林	感染性胃腸炎(30.3)、流行性耳下腺炎(6.0)
宮崎市、延岡、日南、高鍋、高千穂、日向、中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)
- ・流行性角結膜炎(8.0)

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成27年10月19日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O145:HUT)	70歳代	男	2015.9.19	—	便	2015.10.6
EAggEC(O111:HNM)	0~4	女	2015.9.28	発熱(38.5℃)、胃腸炎(下痢、嘔気、嘔吐、血便、腹痛)	便	2015.10.8
EAggEC(O127a:HNM)	0~4	女	2015.10.1	—	便	2015.10.8

0~4歳の女児から腸管凝集付着性大腸菌(EAggEC)が検出された。血清型O111によるEAggECは、今年の3月から5例目である。過去には他県で、EAggECが原因と推定される集団感染事例も発生していることから、今後も発生動向や共通の感染源の有無などに注意していく必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	材料	検出日
RSウイルス ライノウイルス	0～4歳	女	2015.10.5	喘息様気管支炎、38.4℃、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2015.10.8
ライノウイルス	0～4歳	男	2015.10.5	喘息様気管支炎、37.5℃、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2015.10.8
パレコウイルス1型	0～4歳	男	2015.9.7	ウイルス性腸炎、下痢	便	2015.10.13
エコーウイルス25型	0～4歳	男	2015.9.12	エンテロ疑い、38.2℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.10.16
エコーウイルス16型	0～4歳	男	2015.9.12	エンテロ疑い、39.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.10.16
エンテロウイルスD68型	0～4歳	女	2015.10.6	早期乳児発熱、40.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.10.16

○発熱を呈した乳児からエンテロウイルス D68 型が検出された。エンテロウイルス D68 型の感染による主要な臨床所見は呼吸器症状であり、増殖至適温度や酸耐性等のウイルス学的性状はライノウイルスに類似している。国内の検出状況を見ると、年間に数例しか検出されない年がほとんどであったが、2010 年以降は年間で 100 例以上の報告がされている。また、エンテロウイルス D68 型は例年 9 月から秋にかけて検出が増加しており、今後本県でのエンテロウイルス D68 型の動向に注意する必要がある。

📊 全国第 41 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 41 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	308 例				
3類感染症	細菌性赤痢	7 例	腸管出血性大腸菌感染症	40 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	デング熱	8 例	日本紅斑熱	6 例	マラリア	2 例
	レジオネラ症	28 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	後天性免疫不全症候群	9 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	12 例
	水痘（入院例）	1 例	梅毒	25 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	1 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 98% とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと R S ウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病であった。

R S ウイルス感染症の報告数は 3,696 人(1.2) で前週比 140% と増加した。山形県(4.7)、徳島県(3.9)、福島県(2.8)からの報告が多く、年齢別では 1 歳が全体の約 4 割を占めた。

流行性角結膜炎の報告数は 618 人(0.91) で前週比 83% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.55)の約 1.7 倍と多い。宮崎県(7.5)、熊本県(5.2)からの報告が多い。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第42週(10月12日～10月18日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	2				2					
	定点あたり	0.02	0.03	0.00	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	83	59	20	16	5	3		7		7	1
	定点あたり	2.31	1.64	2.00	2.67	1.25	1.00	0.00	1.75	0.00	1.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	15	22	6	6	1	3				6	
	定点あたり	0.42	0.61	0.60	1.00	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	68	62	10	7	13	13		3		15	1
	定点あたり	1.89	1.72	1.00	1.17	3.25	4.33	0.00	0.75	0.00	3.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	441	318	76	68	15	19	91	20	4	21	4
	定点あたり	12.25	8.83	7.60	11.33	3.75	6.33	30.33	5.00	4.00	5.25	4.00
水痘	報告数	12	14	9		2			2		1	
	定点あたり	0.33	0.39	0.90	0.00	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	40	17	7		1	1	5	1		1	1
	定点あたり	1.11	0.47	0.70	0.00	0.25	0.33	1.67	0.25	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	15	7	4	2		1					
	定点あたり	0.42	0.19	0.40	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	31	35	14	6	5	3	4			3	
	定点あたり	0.86	0.97	1.40	1.00	1.25	1.00	1.33	0.00	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	6	1		2	1		2			
	定点あたり	0.06	0.17	0.10	0.00	0.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	30	35	2	6	6		18	2		1	
	定点あたり	0.83	0.97	0.20	1.00	1.50	0.00	6.00	0.50	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	45	36	9	22	5						
	定点あたり	7.50	6.00	3.00	11.00	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	2	2								
	定点あたり	0.14	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～42週)

2類感染症	結核	171例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	101例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	6例
	つつが虫病	3例	デング熱	1例	日本紅斑熱	7例
	マラリア	1例	レジオネラ症	4例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	14例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	3例(1)
	破傷風	7例				

()内は今週届出分、再掲